

子どもがのびのび育つ家



家族をしあわせにする木の香り。

玄関の引き戸を開けた瞬間、ふわりと木が香ります。ここは、香南市夜須町の閑静な住宅地。2024年2月に完成したばかりのご自宅で、前田さんご一家が笑顔で迎えてくれました。

1階のリビングは、広々とした空間が際立つ吹き抜け。仕切りとなる壁やドアを極力減らした設計が、室内に心地よい開放感をもたらしています。

県産のスギを使用した梁が美しく、床、手すりの格子、テーブルなどと相まって温かい雰囲気演出しています。



引き戸のガラス部分から明るい光が差し込む玄関。



前田さんご夫妻と誉くんがお出迎え。



リビングから2階につながる階段。行き来が見えて、いつでも存在を感じられます。



子どものための自遊空間。

子ども部屋は約9畳という広さ。2人目のお子さんを想定して、2部屋に仕切れるスペースを確保しています。

壁にペニヤ板を設置して、お絵描きスペースを作りました。これなら自由に落書きしても大丈夫。お子さんの成長に合わせ、クロスを貼ることも可能です。

誉くんは2歳。木の床が大のお気に入り。わざとドタンバツタンと音を立てながら歩いたり、元気に走り回ったりしたかと思えば、ゴロゴロ寝転んでみたり、背中でハイハイしたり。木の感触が本当に心地良さそうです。



ちょっとしたベンチ替わりにもなる小上がり。下部分は収納スペースとして大活躍。



家族の^{とき}時間を刻む場所。

ご夫妻が理想とする住まいは木がふんだんに使われた奥さまのお母さまの家だったといいます。その家の設計を手がけた建築士が江西章さんであり、それが縁となり、今回の依頼へとつながりました。「建築士ならではのアイデアをたくさんいただいたおかげで、素敵な家ができて大満足です」。

これからずっと、ご一家が時間を刻む場所。それは木に包まれた温かな空間でした。

左上の天井に見える部分が2階スペースの床なんだって。



海が見える2階スペースは、スクリーンを下ろせばシアタールームに。

木の家に関するご相談は以下へお問合せください。

ぶらっとホームMoku

住所／南国市緑ヶ丘1丁目1201-5
TEL／088・879・3304 <https://plathome-moku.jp>



YouTube QR

この日の取材の様子はこちらから
もりりんチャンネル



Instagram QR

高知県からのお知らせ

全国一の森林率84%を誇る高知県。その木を使って、風土に合った家を見てみませんか。県では、「ここの木の住まいづくり助成事業」であなたを応援します。柱や梁等の8割以上に県産乾燥木材を使うと、量に応じて、最大80万円の補助金がもらえます。

【要件】

高知県内で新築、増築、リフォームを行う木造住宅

- 延べ面積の過半の用途が住宅であること
- 県産乾燥木材を使用すること

【新築・増築の場合】

基本部位に80%以上使用すること

【リフォームの場合】

リフォーム部分の木材に使用すること

- 新築及び増築は瑕疵担保責任保険加入等住宅であること

【対象者】

対象住宅を取得(所有)し、自ら居住する個人
(賃貸を目的とするものは除く)

申込や申請の提出書類には設計や施工に関するものが多く必要なので、建築士に委任するのが一般的な方法です。家を建てるのが決まったら、建築士さんに一度ご相談ください。制度・事業の詳細については高知県庁HPをご覧ください。

[ここの木の住まいづくり](#) 検索



【補助額】

①基本部位、その他の部位

県産乾燥木材の使用量m³×11,000円(JAS製品は20,000円)=補助額①

②内装木質化

県産乾燥木材の使用面積m²×2,000円=補助額②

③長期優良住宅加算

長期優良認定木造住宅／10万円加算(地域型グリーン化事業など併用できない事業もあります。)

④子育て加算

対象者の世帯に児童手当受給対象となる児童が2人以上いる場合 ②の内装木質化と同額を加算



北側の正面はシックな平屋の外観。



南側の庭から見れば、実は2階建てとわかる。